

xv) 周波数-空間領域予測フィルター(F-X Prediction Filter)

周波数-空間領域に於いて複素型予測フィルターを設計,適用して、ランダムノイズを抑制し相対的に S/N を向上させる以下の F-X 予測フィルター処理を実施した。

オペレータ長	3 CDPs
空間ウィンドー長	30 CDPs
時間ウィンドー長	1000 msec

xvi) 帯域通過フィルター(Bandpass Filter)

反射波の有効周波数帯域が周波数成分解析によって決定され、以下の零位相帯域通過フィルターが採用された。

オペレータ長	400 msec
周波数通過帯域	6/8 - 25/30Hz

xvii) 基準面補正(Datum Corrections)

浮動基準面から基準面への、時間補正が適用された。

xviii) 周波数-空間領域差分時間マイグレーション(F-X FD Time Migration)

時間断面上の反射点位置を実際の位置に移動させ、回折波を回折点に復元することを目的として、周波数-空間領域差分時間マイグレーションを適用した。

最大周波数	30Hz
下方外挿時間ステップ	8 msec

xix) 深度変換(Depth Conversion)

図 36 に示した重合速度プロファイルから、時間及び空間方向に平滑化した平均速度分布を用いて、'Vertical Stretch'法による深度変換を実施した。

以上の処理ステップを逐次経ることによって、図 38 の重合処理断面図、図 39 時間マイグレーション断面図、および図 40 の深度変換断面図が得られた。

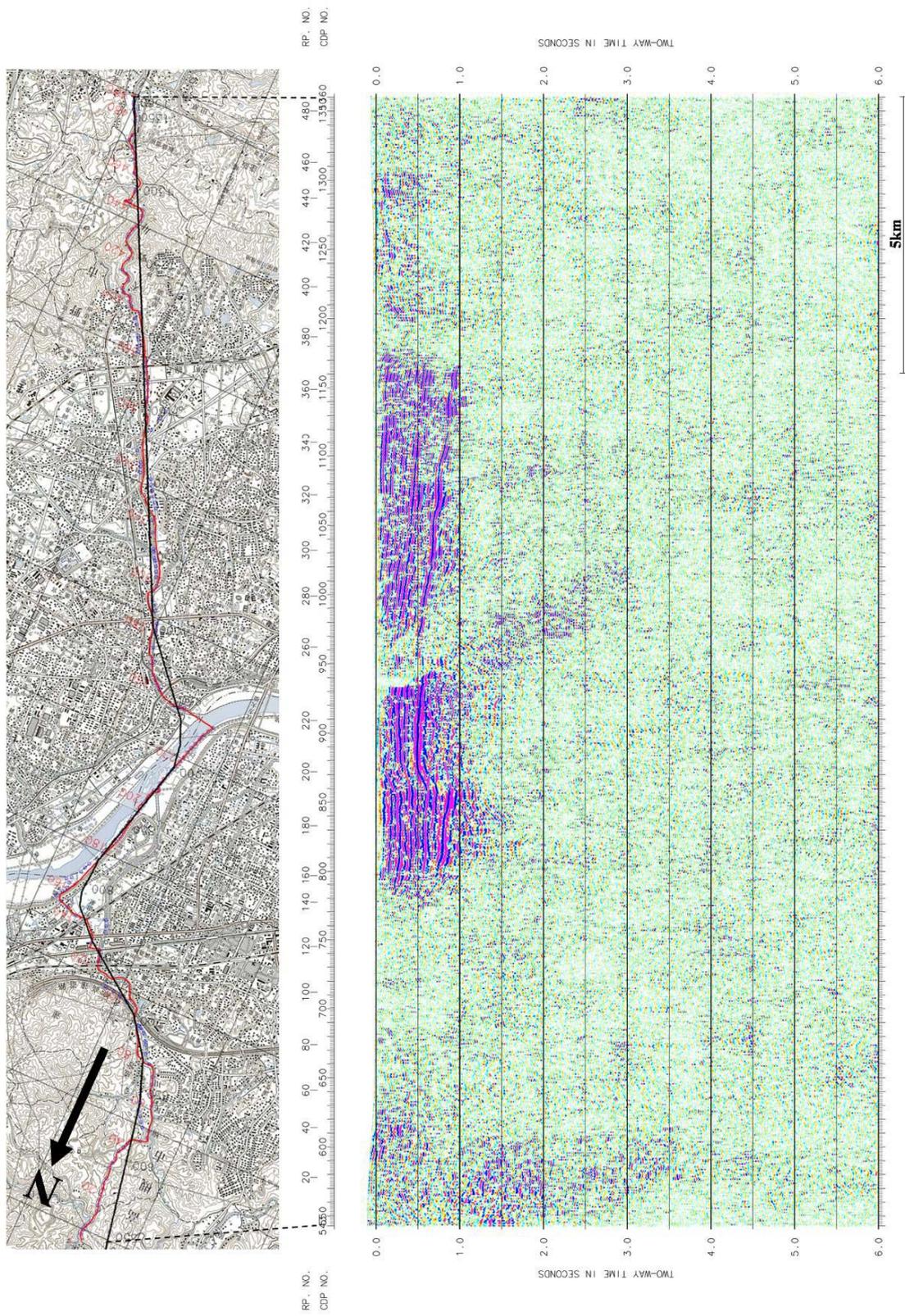


图 38 生駒高槻反射法重合断面

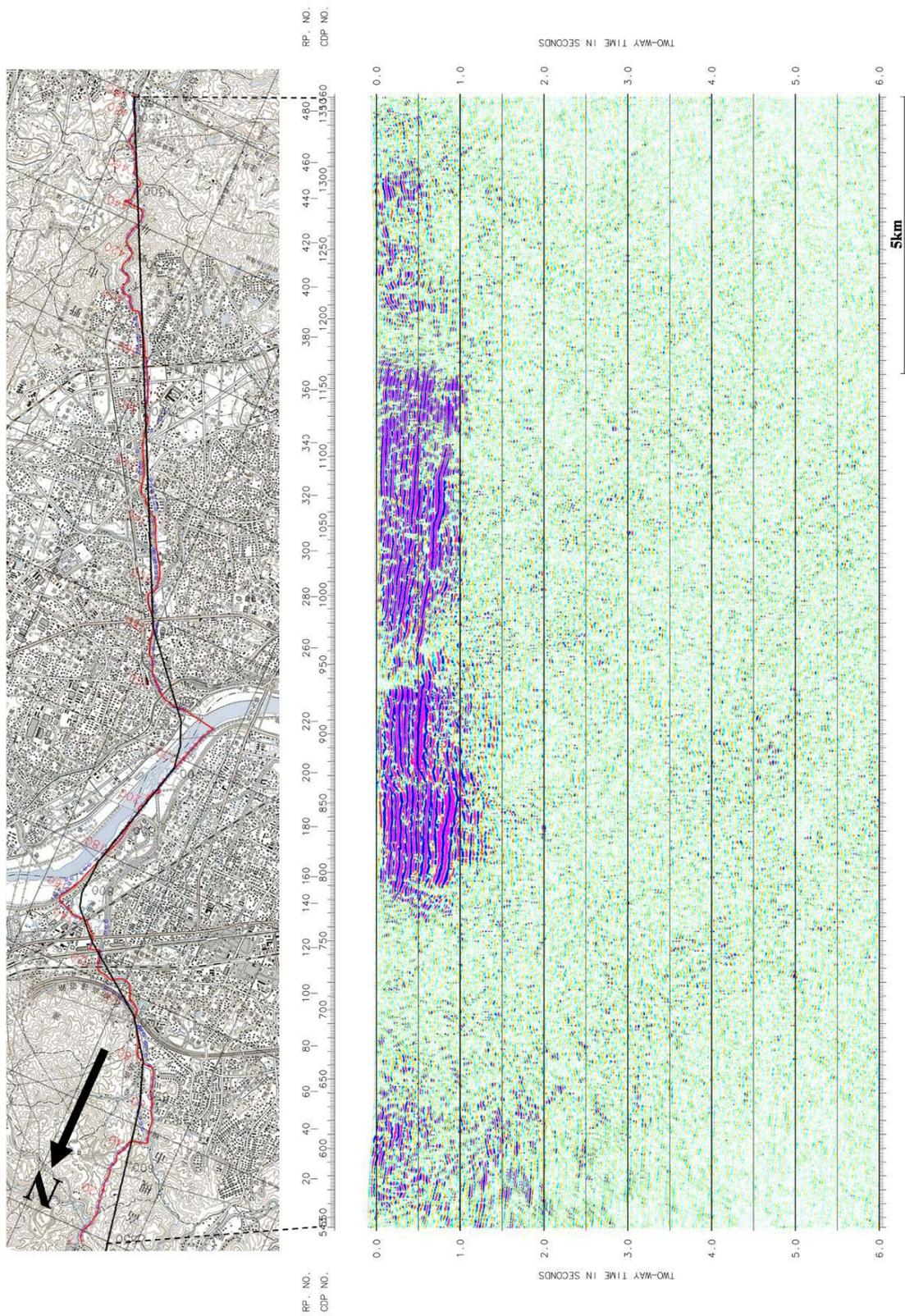


図 39 生駒高槻反射法時間マイグレーション断面

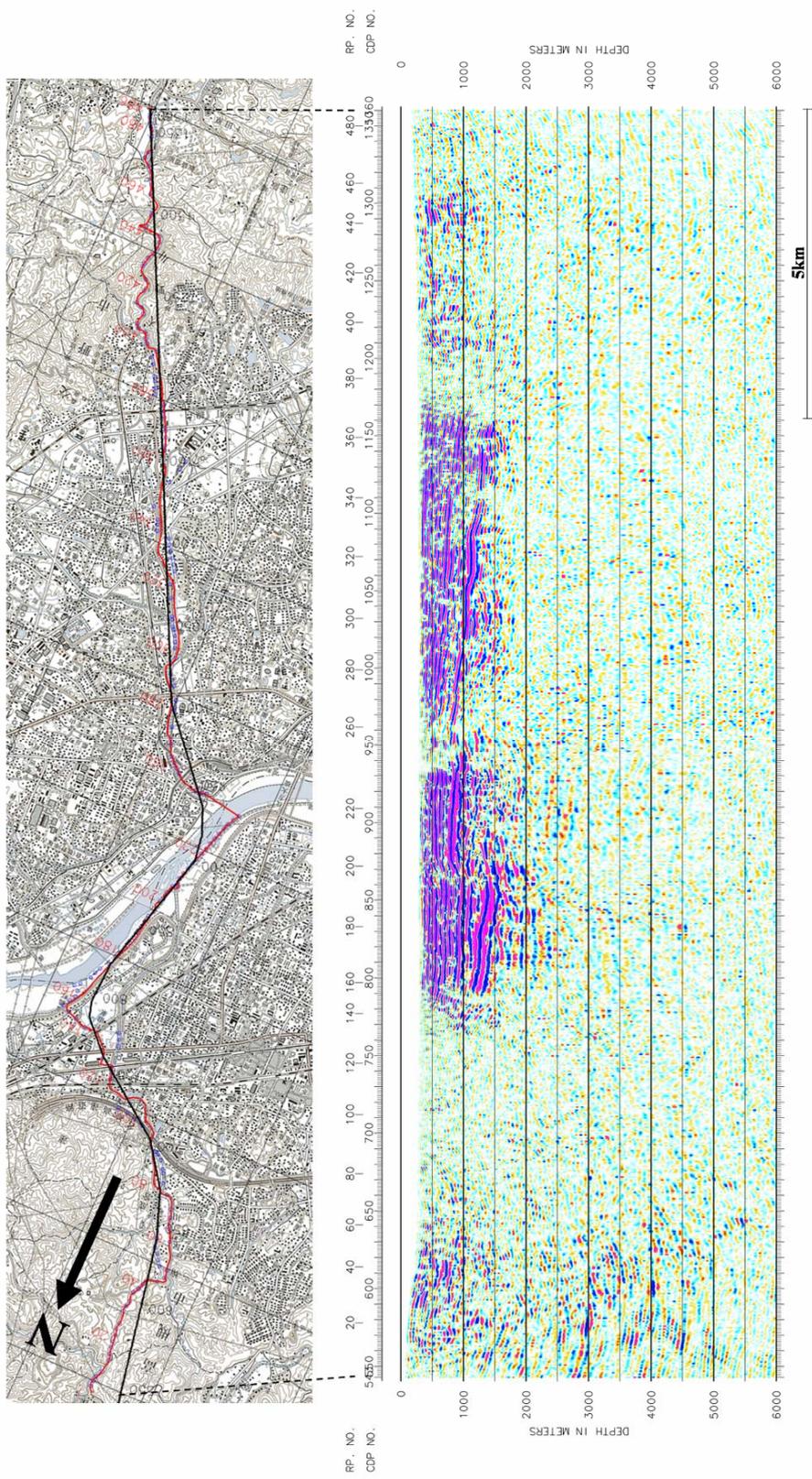


图 40 生駒高槻反射法深度断面